

# 一笑懸命

柴田町立船迫中学校  
3学年だより  
文責：3学年主任  
2019/04/09 NO. 2

## 進級おめでとう

# 最上級生の生活がSTART

昨日から中学校最後の学年である3年生の生活がスタートしました。これまで3年生を担当した経験から、3年生という学年は2つの特別な面を持っている学年だと思えます。

1つ目は、学校のリーダーであるということです。学校のリーダーである3年生は後輩に対して模範を示さなければなりません。下級生というのは自然に上級生の姿を、行動を、そして考え方をまねるものです。ですから、常に【船迫中学校のリーダーという自覚と自負（プライド）】を持って行動してほしいと思っています。そのためにも、真のリーダーに必要な次の10項目をよく噛みしめながら学校生活を送ってほしいと思います。

### リーダーシップ

ボスは部下をアゴで使い、リーダーは指導する。

ボスは権力に頼り、リーダーは善意に頼る。

ボスは恐怖をあおり、リーダーは情熱をかきたてる。

ボスは自分本位、リーダーは全体を考える。

ボスは仕事を命じ、リーダーは模範を示す。

ボスは「時間通りに集まれ」と言うだけで、リーダーは時間の前に行って待っている。

ボスは物をこわすととがめ、リーダーはこわれた物を直す。

ボスは仕事のやり方を口で言うだけだが、リーダーは実際にやってみせる。

ボスはあくせく仕事をやらせるが、リーダーは楽しく仕事をやらせる。

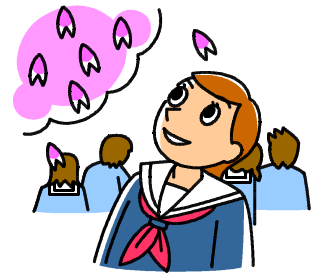
ボスは「これをやれ」と命令し、リーダーはこれをやろうと促す。



2つ目は、これからの行事は中学校生活において、すべて最後になってしまうということです。後で「ああすればよかった」「こうしておけばよかった」と後悔しないよう、常に行事に対しては最善を尽くして取り組んでほしいと思っています。そうすれば、おのずと良い思い出が一杯できます。しかし、単に楽しいだけ・おもしろいだけでは良い思い出とは言いません。良い思い出とは、楽しい・おもしろいは当然のこと、それにプラスして自分たちで精一杯取り組み、子どもたちみんなと一緒にやり遂げることができた満足感も含めた思い出だと私は考えています。**子どもたちがみんなであっている姿を見たい。子どもたちが心を一つにして、ともに（一緒に）頑張っている姿を見たい。**これが学年だよりのタイトルである【一笑懸命】に込めた想いです。来年3月の卒業式にはたくさんの良い思い出と感動を胸に、この船迫中学校を巣立って行ってほしいと思います。

### 3年生の抱負

今日、私たちは最高学年に進級しました。船迫中学校で過ごす最後の1年間、私は三つのことを特に頑張りたいです。一つ目は、勉強です。高校入試の受験日まであと1年もありません。だから、授業を予習復習を人にやらされるのではなく、自分から取り組み、定期的に行われるテストで、結果を残したいです。自分の将来のためにも勉強をしっかりと、後から後悔しないような努力をしたいと思います。二つ目は、部活動です。私たち3年生にとって最後の大会となる中総体まで2ヶ月を切っています。去年の新人戦は、個人・団体ともに悔しい結果で終わってしまいました。他校のライバルたちは、クラブチームに所属し、努力しています。しかし、私たちはクラブチームなどには所属しておらず、ライバルたちに比べて練習が不足していると思います。このままでは、「中体連優勝」という目標を達成することは無理だと思います。しかし、部員一人一人が日々の練習で、大会を意識しながら取り組み、自主練習などを努力を積み重ねることで、「優勝」が見えてくると思います。辛い練習にも仲間と声を出して、互いに支え合い「中総体優勝」という目標を達成できるように、部長としてチームを引っ張って行きたいです。三つ目は、学校行事です。修学旅行・迫中祭・合唱コンクール・卒業式などとたくさんの大きな行事があります。2年生の時には、特に迫中祭・合唱コンクールに力が入りました。そして、私はその取り組みを通して、クラスのみならず「全力=楽しい」ということを学びました。仲間のために、自分のために全力になることは、本当に大切だと思います。だから、3年生では、ラストの行事を一つ一つの行事を全力で、クラスの仲間と学年の仲間と取り組みたいと思っています。最後に、卒業まで残り少ない中学校生活、最高の仲間たち、63名とともに笑顔あふれる悔いのない宝物となるような思い出をたくさんつくりたいと思います。3年生の皆さん、全力で頑張らましょー！！



※始業式発表原稿より

### 受験生となった皆さんへのメッセージです

